

(1) 地域間幹線系統確保維持計画の承認について

1) 野沢線 1 ページ

2) 中野木島線 4 ページ

3) 地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用） 7 ページ

地域間幹線系統別確保維持計画

平成30年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1
 (名称) 長電バス株式会社
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 野沢線
 運行区間 : 飯山駅 ~ 日赤・中村 ~ 野沢温泉
 計画期間 : 平成30年10月1日~平成33年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

- (1) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の通勤・通学者の利用のため
- (2) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の飯山市の商業施設等への利用のため
- (3) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民の総合病院への通院のため
- (4) 飯山市・野沢温泉村・木島平村住民のJR及び中野木島線への接続のため
- (5) 沿線上の中学・高校への通学利用のため

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。

効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 平成31年度輸送量目標値 : 37.1

(2) 運行による効果

飯山市内、木島平村内及び野沢温泉村内への移動手段を確保維持することにより、移動制約者の日常生活を支え、特に高齢者を中心とした生活環境等の維持が図れるとともに、過疎化の進む中山間地域における活性化につながることも期待される。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

飯山市地域公共交通会議が主体となり、在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
H30.10~H31.9	11,552,938円	3,814,500円	3,814,500円	3,923,938円	0円

H31. 10～H32. 9	11, 585, 603 円	3, 825, 000 円	3, 825, 000 円	3, 935, 603 円	0 円
H32. 10～H33. 9	11, 555, 896 円	3, 815, 500 円	3, 815, 500 円	3, 924, 896 円	0 円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 平成26年7月、路線バス全線運賃改定による収益改善
- (3) 時刻表の全戸配布による周知及び利用促進活動（飯山市・木島平村・野沢温泉村）
- (4) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填の実施

7. 生産性を向上する取組

(1) 取組内容

在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

(2) 実施主体

飯山市地域公共交通会議

(3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

(4) 実施に向けたスケジュール

JRから時刻改正の事前情報を頂き、JRの時刻改正と同時に実施できるよう努める

(5) 実施時期

列車の時刻改正時

(6) その他特記事項

速達性で勝る直通バス路線は外国人旅行者に支持されていることから、通勤・通学の利用者や国内旅行者の需要を喚起する

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課長

(氏 名) 大石 真一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) rosenbus@nagadenbus.co.jp

地域間幹線系統別確保維持計画

平成30年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1
 (名称) 長電バス株式会社
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 中野木島線
 運行区間 : 中野駅 ~ 若宮・高社中・木島 ~ 飯山駅
 計画期間 : 平成30年10月1日~平成33年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性(生活交通路線である理由・路線の状況)

- (1) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学のための移動手段
- (2) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした商業施設利用のための移動手段
- (3) 飯山市、中野市のバス路線沿線住民を中心とした総合病院等の医療機関への通院のための移動手段
- (4) 中野市のバス路線沿線住民生徒の中学校通学利用のため移動手段
- (5) 野沢温泉村・木島平村民及び以北の住民の方が利用されてる同じ幹線であります野沢線との接続をはかることによる通勤・通学・通院利用のための移動手段

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。
 効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 平成31年度輸送量目標値 : 18.0

(2) 運行による効果

中野市内中心市街地への移動手段を維持確保することにより、高齢者を中心とした生活環境等の維持が図られるとともに、過疎化の進む山間地域において地域の活性化につながることも期待される。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

中野市・飯山市地域公共交通会議が主体となり、在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者

H30.10～H31.9	10,887,685円	2,721,500円	2,721,500円	5,444,685円	0円
H31.10～H32.9	10,917,514円	2,729,000円	2,729,000円	5,459,514円	0円
H32.10～H33.9	10,887,685円	2,721,500円	2,721,500円	5,444,685円	0円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 平成21年度中野市地域公共交通総合連携計画に伴う経路変更に伴う利便性の向上
(H21.10路線再編に伴い一本木地区利便改善のため経路変更を行った)
- (3) 時刻表の全戸配布による周知及び利用促進活動(飯山市)
- (4) 平成26年7月、路線バス全線運賃改定による収益改善
- (5) 中野市地域公共交通対策協議会による時刻表等の全戸配布を行った。
- (6) 飯山駅新幹線開通に伴い、飯山駅への路線延長を実施。
- (7) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填実施

7. 生産性を向上する取組

(1) 取組内容

在来線、新幹線からの飯山駅での接続改善を実施し、利便性向上を図る。

(2) 実施主体

飯山市地域公共交通会議

(3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

(4) 実施に向けたスケジュール

JRから時刻改正の事前情報を頂き、JRの時刻改正と同時に実施できるよう努める

(5) 実施時期

列車の時刻改正時

(6) その他特記事項

効率的な運用による費用削減を図るため、今後、補助対象外系統の見直しを検討する

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課長

(氏 名) 大石 真一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) rosenbus@nagadenbus.co.jp

地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）

平成30年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1
 (名称) 長電バス株式会社
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 野沢線
 運 行 区 間 : 飯山駅 ~ 日赤・中村 ~ 野沢温泉
 導入予定年月 : 平成31年9月

2. 車両の取得に係る目的・必要性

生活交道路線を運行している車両の老朽化に対応するため、新たに車両を代替し車両経費の軽減と事業収益の改善を図るとともに、生活路線の運行維持ならびに利用者へのサービス向上を図る。

3. 車両の取得に係る定量的な目標及び効果

(1) 新規車両導入に係る目標

老朽化した車両との代替により、燃料費等の経費の軽減を図る。
 運行車両燃費：3.5キロメートル/L → 4.0キロメートル/L

(2) 新規車両導入に係る効果

新車を導入することで、燃料費等の経費を削減し、事業の収支改善が図られる他、地球温暖化対策に貢献できる。

4. 入替予定車両の状況

メーカー：日野
 乗車定員：57人
 登録番号：長野200か1102
 登録年度（車令）：平成9年
 修繕費（前年度実績）：約1,000千円

5. 新規導入車両を活用した利用促進策

- ・沿線市町村の協議会を活用しダイヤの見直し等の検討
- ・新車導入により利用者の利便性・快適性の向上

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課長

(氏 名) 大石 真一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) rosenbus@nagadenbus.co.jp